

Title	夫木集緊要橘浜子筆写本
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1978
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.15下 (1978.) ,p.[449]- [834]
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	目次のタイトル: 橘浜子筆写本卷上中下合二冊
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000152-0449

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

*注記・・論文中の写真について転載する場合は斯道文庫にお問い合わせ下さい。

夫木集緊要 橘浜子筆写本



此書、全部三十六冊、目錄一卷を附す。遠江北住人、勝田越前守長清朝臣、法名蓮昭に撰なり。中昔の頃此家集、私撰、百首哥等此中より、代々の勅撰に漏るる哥をも、拾ひ輯せり。跋と奥書といひ、趣意、今より已後此勅撰のころ、又此道より、深うむ人のころに、嘲りをして、願ふ善惡のいふに、博く録し、おくりたり。此題号より扶桑集と名つて、冷泉黄門為相卿に見せるる、せしむる、卿申されり。此大成や、ふくむに皇朝に深秘の書あり、但し扶桑を國に総名を、これ悼とありと申さる。扶字のほろ、業、字、此本をとりあてて、扶和歌集と名つけたり。趣きあり、長清存生に、間ハ深く秘藏して、外見よ及ばしむるを、没後せしむる、り、しむる、む、實に汎く集て、後世に萬葉とし、く、書に、ありけり。然りて、世より、風體卑俗に推移り、其編集と、又右の趣意を、り、た、よく撰を、取、り、多、り、た、故、古學興りて、の、り、

柳

Handwritten musical notation for the character '柳' (Willow).

月

Handwritten musical notation for the character '月' (Moon).

日

Handwritten musical notation for the character '日' (Sun).

稻荷詣

Handwritten musical notation for '稻荷詣' (Inari no Michi).

遊絲

Handwritten musical notation for '遊絲' (Yūshi).

春駒

Handwritten musical notation for '春駒' (Harukoma).

燕

Handwritten musical notation for the character '燕' (Swallow).

花

Handwritten musical notation for the character '花' (Flower).

日

Handwritten musical notation for the character '日' (Sun).

月

Handwritten musical notation for the character '月' (Moon).

雉

Handwritten musical notation for the character '雉' (Rooster).

蛙

Handwritten musical notation for the character '蛙' (Frog).

日

Handwritten musical notation for the character '日' (Sun).

月

Handwritten musical notation for the character '月' (Moon).

其名も... 今此... 賀茂翁の... 耳驚... 地を動... 今一... 耳眼の... 其名も...

- 山
- 日
- 日
- 日
- 日
- 日
- 日

凡そやうに物多くとりてみれば、此の如く、其の音の、
 ようやくと先づ、けい、う、う、う、う、う、う、う、う、
 い、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
 一、音の、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
 つ、と、大事、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
 要、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
 一、く、餘情、と、う、う、う、う、う、う、う、う、
 り、る、人、の、音、と、も、ま、ま、大、方、皆、右、の、う、う、
 拙、く、成、る、と、も、ま、ま、縣、居、翁、出、て、わ、て、其、拙、ま、
 ほ、も、う、う、に、并、く、は、う、う、う、う、う、う、う、
 教、く、ま、れ、ま、る、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
 じ、れ、と、う、う、得、ま、る、わ、て、古、學、の、音、と、も、ま、
 の、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
 若、菜、 ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、

日

~~~~~

日

~~~~~

日

~~~~~

鸞

~~~~~

殘雪

~~~~~

春西

~~~~~

花

~~~~~

日

~~~~~

春野

~~~~~

日

~~~~~

春籬

~~~~~

雪崖

~~~~~

山吹

~~~~~

躑躅

~~~~~


る詞とを以て、奇の風體句調をとまゝと、朱点着し、詞とを以て一首此肺肝耳眼をとくく習ひ、遂に全體此風韻ハ、三代集の高きに沂らし、意旨此新情ハ、後世此今より、亦方取つるなり、今此集此奇躰、野俗に降る方あり、しよと、右の点簽に依て用らるるは、おのづから新情に移る得のみありて、野調に混じり失れあり、亦、偏に点簽此徳あり、又此書を弄ひゆく程ふ、しよと、考索し自在を得て、忽吟咏此妙境の探り得らるるハ、全く此緊要此撰の徳なり、亦、これ今より此書に馴らん壯士等ハ、づゝと、新調に富ゆらん、頻りに後學し、慙愧せしめて、將に老吟を廢むとて、おぼゆるるあり、守部晚年よりして、奇しき書を思ひ得つるハ、吾に従ふ後學れし、其勤勞あるに似し、又此集四季より始て、数多の雜し、次第して輯らし、今より後言葉の林を、しよと、見合ふ、所謂題林の類の、見合ふるなり、

として、哥の多ううとある題中より、此緊要の撰はあつてゐるやう
 にもいふべきであらう。又、歌數多ううと題中より、爰に聞ゆべき
 ともいふる漏れり、とあるとも、簡古よして、數部あつた人の心
 さういふれ、あやうり卷の長くあるをいひてさういふり。又
 此本書、今世に流布せる二本ともに誤りありし、今此は撰へ
 ると、さういふ、皆既の校合をさういふて、午のとく、限アとさ
 改らうとしてきく、さういふり、さういふて、疑ふや、これ又、此書、
 哥の頭を、あひさういふ、さういふり、類、哥を、舉、故事を引、
 耳、遠け、さういふ、詞、よ、は、小、註、を、さういふ、さういふ、さういふ、
 數部の緊要、さういふ、編成、後、さういふ、これ、先、これ、さういふ、
 さういふ、人、思、ひ、さういふ、さういふ、は、か、さういふ、さういふ、

天保四年十一月廿二日

池庵主人誌

夫木集緊要上卷題

歲內立春 元日

立春 附初春

子日

若菜

鶯

霞

餘寒

殘雪

春冰

若草

梅

柳

早蕨

春雨

春駒

燕

花 附落花

遲日

歸鴈

春雜

雉

喚子鳥

雲雀

春田

蛙

堇

杜若

款冬

藤

躑躅

暮春

三月盡

新樹

卯花

更衣

首夏

餘花

早苗

五月五日

神祭

葵

賀茂祭

早苗

五月五日

菖蒲

郭公

五月雨

照射

麥

牡丹

櫻

百合

鶉河

水雞

螢

夏神樂

夏雜

夏夜

夏月

紫陽花

夏草

夏野

蚊遣火

夏衣

扇菱
納涼
晚夏

瞿麥
夏田
泉
荒和菽

瓜
夕立
氷室

夕魚
蟬
夏鹿

蓮
茅鯛
夏虫

夫木集緊要卷上

橋守部撰

歳内立春

寛元二年六帖題 春立日

* 藤原光俊朝臣

とれそめとりのきけりニ考りてうらみかたしめりて

元日

寛喜元年女御入内出居凡京萃人家元日

* 光明寺入道攝政

とらまのきのふに松をうらみて民のたるとちりて

建仁元年十五番弄合

* 野宮左大臣

九きりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

立春

日弄合

* 前中納言定家

はらりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

久安百首

藤原實清朝臣

後堀川院関白道長公女御子入内也

山家集 かきくくくくくく

つしちりりりりりりりりりり

こりりりりりりりりりりりりりり

山のりりりりりりりりりりりりりり

年王出江次第卷一

拾葉二十リ註出

春の心はさかづき... 中絶... *

喜多院入道二品親王家五十首

* 入道二品親王

あはれぬ... 春の心... *

建長八年家百首并合

* 後九條内大臣

春の心はさかづき... 春の心... *

治承二年右大臣家百首并合

* 皇太后官女俊成

春の心はさかづき... 春の心... *

弘安元年百首

* 法印定圓

春の心はさかづき... 春の心... *

春舟中

* 清原保養父

春の心はさかづき... 春の心... *

家集 山家早春

* 藤原清輔朝臣

春の心はさかづき... 春の心... *

永文四年百首 春日

* 藤原忠房

喜春上谷風... 山の心... 竹や...

神代紀 玉垣内津國

拾遺秋能宣

~~~~~\*~~~~~

朱雀院古房凡哥

紀貫之

~~~~~\*~~~~~

祐子内親王家子合 継の~~~~~ 加賀左衛門

~~~~~\*~~~~~

家集

前中納言匡房

~~~~~\*~~~~~

建保三年内大臣家百首早春

总鎮和尚

~~~~~\*~~~~~

平宗宣朝臣~~~~~十首早春

泰議為相

~~~~~\*~~~~~

家集早春の哥中

能因法師

~~~~~\*~~~~~

建保六年内大臣家百首春言

定家





Handwritten cursive text, likely a title or part of a collection.

若菜

曰

宣秋門院丹後

Handwritten cursive text line.

百首御歌

順徳院

Handwritten cursive text line.

家集屏風三月山家之記

平魚盛

Handwritten cursive text line.

弘長元年百首

信實朝臣

Handwritten cursive text line.

曰

法印定圓

Handwritten cursive text line.

建長八年百首御歌

後九條内大臣

Handwritten cursive text line.



古今春上二条伝  
さめしき春のまよひ  
くらげのこころは  
なやとせん

古今秋下 紀洪範  
もろもろのとき  
ふねのまよひや  
はしとせん  
平八上コ出

古今冬 能友則  
さしづめ  
まよひ  
なやとせん

日春上 空見  
まよひ  
なやとせん

※ 春のまよひのほろろき  
なやとせん

小節宮殿七十御賀存見哥  
大中臣能宣朝臣

※ 春のまよひのほろろき  
なやとせん

春哥中鶯  
鎌倉右大臣

※ 春のまよひのほろろき  
なやとせん

光臺院入道二品親王家五十首  
雪中鶯

從二位家隆

※ 春のまよひのほろろき  
なやとせん

貞應三年百首  
民部卿為家

※ 春のまよひのほろろき  
なやとせん

哥苑抄 題不知  
よき人

※ 春のまよひのほろろき  
なやとせん

老若五十首哥合  
後鳥羽院宮内卿

※ 春のまよひのほろろき  
なやとせん



※ 清輔朝臣

家集 朝望旅密

※ 寂蓮法師

喜多院入道二品親王家平右衛門

※ 土御門内大臣

二百五十番奇合

※ 前大納言隆房

正治二年百首奇

※ 意後

百首奇

※ 石清水若宮奇合 河邊衆 祝部成茂

※ 後京極攝政家奇合 志賀浦霞 家隆

※ 志賀浦霞 家隆

異本拾玉  
たのむるを  
たのむるを  
たのむるを  
たのむるを

考るれはみよけのぬえりてくまはとけのちのぬえり\*

嘉禄元年万首

◎ 民部卿為家

あはれみよけのぬえりてくまはとけのちのぬえり

日二年百首 海處

家隆

古今社とていへりて  
いへりていへりて  
いへりていへりて  
いへりていへりて

いへりていへりていへりていへりていへりて  
いへりていへりていへりていへりていへりて

餘定

家集

いへりていへりていへりていへりていへりて  
いへりていへりていへりていへりていへりて

\* 鴨長明

後授毛と

いへりていへりていへりていへりていへりて  
いへりていへりていへりていへりていへりて

日

いへりていへりていへりていへりていへりて  
いへりていへりていへりていへりていへりて

為家

\* 老善五十首 奇合

\* 系識雅經

いへりていへりていへりていへりていへりて  
いへりていへりていへりていへりていへりて

残雪

光明寺入道掬收家百首

春雪

益慎





しんくみのり...\*

\* 必所奇 古与呂木、磯若草 \* 為相

梅

嘉元二年百首

あ... \* 為家

梅花薰曉袖... \* 前大納言兼宗

あ... \* 西行上人

雪... 西行上人

ま... \* 式子内親王

正治二年百首... \* 式子内親王

\* 神の... \* 西洞院隠士百首

西洞院隠士百首

あ... \* 後京極

家集 梅

清輔 \*

~~~~~\*~~~~~の~~~~~の~~~~~

乾元二年仙洞寺合 春夕

前中仙言為進

梅の花~~~~~の~~~~~夕~~~~~の~~~~~

柳

百首御奇

後鳥羽院

~~~~~\*~~~~~の~~~~~の~~~~~

東三條~~~~~の~~~~~御堂~~~~~の~~~~~岸柳

伊勢大輔

~~~~~\*~~~~~の~~~~~の~~~~~

喜多院親之家五十首

季経 *

~~~~~\*~~~~~の~~~~~の~~~~~

光豊院親之家五十首 岸柳

常盤井入送大臣

~~~~~\*~~~~~の~~~~~の~~~~~


しほのこゝろのあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては

春雨

あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては

あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては

あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては

あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては

あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては
あはれをよみてはあはれをよみては

春駒

堀河院御侍一首

中納言國信

宗姫王故事也事文類聚四十五丁出ツ拾葉二十六丁ワリリ
己上夫木卷之三

拾遺雜春 春風花
のうららかなるは
さけのうららかなるは

あはれみのほのきりてのうららかなるは
あはれみのほのきりてのうららかなるは

文應元年七社百首

為家

あはれみのほのきりてのうららかなるは
あはれみのほのきりてのうららかなるは

燕

鳥百首中燕

為相

あはれみのほのきりてのうららかなるは
あはれみのほのきりてのうららかなるは

花

建保四年百首

家隆

あはれみのほのきりてのうららかなるは
あはれみのほのきりてのうららかなるは

家集

為相

あはれみのほのきりてのうららかなるは
あはれみのほのきりてのうららかなるは

洞院掬政家百首花

從三位範宗

あはれみのほのきりてのうららかなるは
あはれみのほのきりてのうららかなるは

水邊為花

錦倉右大臣

雑

假し狩とさしり

拾葉二四十五才注

家集繪下巻上紙の... 和泉式部

六帖題

しんま... 光俊

幽子鳥

堀河院仲時一首

権僧正永縁

二十五番寺令

二條院讚岐

雲雀

五千首等

家隆

六百番寺令

善鎮

文應元年七社百首

為家

あまのふかきつらねのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを

正治二年百首

三三位 為家

あまのふかきつらねのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを

楚忽百首 草子

為相

あまのふかきつらねのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを

杜若

堀川院百首 杜若

権中納言 師時

あまのふかきつらねのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを

家集

頭 仲朝臣

あまのふかきつらねのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを

御集

後鳥羽院

あまのふかきつらねのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを
かきとらふはまのこゝろを

杜若

二條院 後院

あまのそかきしむるはるのなげゆる海に雲のたす*

名不詳中

為相

枝のすけのねしむるはるのたすけもゆるさぬのしほ*

家集 友花

仲正

しほのそかきしむるはるのたすけもゆるさぬのしほ*

百首

家隆

そとほすきしむるはるのたすけもゆるさぬのしほ*

友のそかきしむる

俊恵

梢のそかきしむるはるのたすけもゆるさぬのしほ*

文永二年七月七首 浦藤

後嵯峨院

いさかきしむるはるのたすけもゆるさぬのしほ*

家集 友花のそかきしむるはるのたすけもゆるさぬのしほ*

源有仲

あまのそかきしむるはるのたすけもゆるさぬのしほ*

建長八年百首

右近中将経家

おどろくはあまのこころをさぐるなり花をくはのふはの夕せ

家集

権僧正公朝

ふくみねのこころをさぐるはくはの夕せをさぐるはくはの夕せ

百首奇歌

家隆

あまのこころをさぐるはくはの夕せをさぐるはくはの夕せ

曰

定家

あまのこころをさぐるはくはの夕せをさぐるはくはの夕せ

文治六年五社百首

俊成

あまのこころをさぐるはくはの夕せをさぐるはくはの夕せ

家集

公朝

あまのこころをさぐるはくはの夕せをさぐるはくはの夕せ

躑躅

公朝

光俊

あまのこころをさぐるはくはの夕せをさぐるはくはの夕せ

百首佛寺

崇徳院*

~~~~~

家集~~~~

小弁\*

~~~~~

永文四年一首脚碇*

神祇物部仲

~~~~~

家集 春三

権中納言長方

~~~~~

曰 高貴中

家隆

~~~~~

久安百首

郁芳門院安藝言

~~~~~

六帖歌

為家

~~~~~

新十三年一任勢

浦らくはの

これ石の中

そーや

今本下らとまはかきり

あま



をいひしおのけあふみのゆりをきよの送るもやゆらん

※ 春情雅集夕陽中

※ 土御門院

夕陽のよまゝのけしきかきよきそ入柳のよまゝをそのよま

※ 六る萬言合 残春

※ 宗舜

うつくしの花のけしきはきよなりあふまゝをそのよま

古寺残花と云々

※ 入道前太政大臣

春をきよしよまゝのよまゝをそのよま

三月盡

※ 百首平 三月盡

※ 总持

よまゝのよまゝのけしきはきよなりあふまゝをそのよま

建長八年百首平合

※ 信實

よまゝのよまゝのけしきはきよなりあふまゝをそのよま

春光只是有明朝

※ 千里

かたじけなくもよまゝのけしきはきよなりあふまゝをそのよま

西處春光日晝

\* 日

~~~~~

天慶二年宰相中将家屋瓦之月

貫之

~~~~~

三月晝

大僧正行尊慶五

~~~~~

天徳四年二月暇日内裏奇令

傳古御

~~~~~

六十五韻奇 九春將晝幾殘日暇望嚴陰簷間斜

\* 定家

~~~~~

酒院、家百首書春

* 家長判臣

~~~~~

拾遺連奇 人々々々  
~~~~~

更衣

久安百首

きつれい衣う〜〜※
後成

正治二年百首

きつれい衣う〜〜
* 慈鎮

家集更衣

※
きつれい衣う〜〜
後京極、

六帖歌出号更衣

きつれい衣う〜〜
* 中務御みこ

建長八年百首号合

※
きつれい衣う〜〜
* 正二位忠定

六帖歌 更衣

きつれい衣う〜〜
* 行実

文應元年七社百首

孝家

建長八年百首并合

左近中将具氏

くさくさや 考ふおろけし *合 しんまの ちりり ねんじふふきとくき

千五百首并合

定家

あふく 露の衣引 えて みどりかき きののしむとさりり

文治三年百首

定家

けし ねく 過るし けつそ ちのちちちち *合 しんまの けし

正治二年百首并合

後鳥羽院

くさくさ けし ちのちちちち *合 やあふく ちのちちちちの ちちちち

餘花

家集 山餘花

前民部卿雅有

くさくさ 孝のりり *合 やしんまの あふく ちのちちちちの ちち

新樹

文集百首 新葉 鴻 涼多

定家

かきくさ けし ちのちちちち *合 ちちちちの ちちちちの ちちちち

※
ひらきおほひはなはなとてゆきしものさしにさるるものなり

※ 永久四年鳥羽殿少将冷卯元 影補

※
あはれおほひの里のふゆをこころみまはるるものなり

※ 弘長百首 菅原井入道太政大臣

※
わのこころをふりかへておほひのふゆをこころみまはるるものなり

五社百首 後集

※
中らおほひのふゆをこころみまはるるものなり

※ 百首平 兼鎮

※
卯元のおほひのふゆをこころみまはるるものなり

※ 伊呂波四十七首 定家

※
おほひのふゆをこころみまはるるものなり

山階入道左大臣家百首少卯元 為家

※
まはるるものなり

弘安二年曾根宮百首 安嘉門院四條

※ 日

※ 行実

~~~~~

※ 建保三年和号所开会

※ 後二位範宗

~~~~~

※ 入道中務卿親皇家内侍

※ 法印定圓

~~~~~

※ 文安百首

※ 實清朝臣

~~~~~

※ 嘉元四年十月當座百首

※ 從二位為實

~~~~~

※ 宝治二道百首早书

※ 知家

~~~~~

※ 文永九年每夕为中

※ 日

~~~~~

備馬樂

拾筆卷上  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~


菖蒲

家集

後類

老若五十首并合

後交物

家集 菖蒲

注性入延岡白

拾葉三十四

久安百首

上西門院兵衛

六十五類并 開扇勢忘晨月織

家

家集 五〇

西行

Handwritten text in cursive style, likely a poem or list of names.

Handwritten text in cursive style, likely a poem or list of names.

Handwritten text in cursive style, likely a poem or list of names.

Handwritten text in cursive style, likely a poem or list of names.

Handwritten text in cursive style, likely a poem or list of names.

Handwritten text in cursive style, likely a poem or list of names.

十歌百首行

ハ... 神... 後凉... *

正治二年百首

ハ... 日... *

千五百番行合

ハ... 家隆 *

文應元年社百番

ハ... 为家 *

日

ハ... 日 *

寛元三年结婚经百首行

ハ... 神... 日 *

建保三年家百首行 故御福

ハ... 光明寺... *

老若五十首哥合

* 总鎮 *

~~~~~

建保三年内大臣家百首 老若部公 信實

~~~~~

近聞部公

* 俊成 *

~~~~~

建保三年名所百首

\* 知家 \*

~~~~~

同日二年之日年凡首

* 定家 *

~~~~~

家真部公

\* 中務子之鎌倉 \*

~~~~~

尔百年奇合時

* 太宰大貳重家 *

~~~~~

洞院攝政家百首郭公

洞院攝政

あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき

成實卿とらふはきり渡郭公 為家

あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき

百首哥

定家

あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき

雲葉 五首哥

祝部成茂

あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき

嘉禎二年十首哥合時多

隆祐朝臣

あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき

五月雨

百首御哥

中務卿みこ

あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき  
あはれみこころのちかきつらき

家集 五月日

西行







家集夏哥

小弁

~~~~~

正治二年百首

二條院讀伎

~~~~~

文治六年五社百首 照射

俊成

~~~~~

千五百番奇合

嘉陽門院越前

~~~~~

百首奇

慈鎮

~~~~~

日

家隆

~~~~~

六帖題

光俊

~~~~~

古今三本送列掛
~~~~~

天喜四年五月六條右大臣家平合照射

~~~~~

麥

二百六十首中

~~~~~

好忠

回家夏雨

~~~~~

清輔

牡丹

百首奇

~~~~~

慈鉄

栲

百首中奇

~~~~~

後鳥羽院

嘉祿四年百首

為家

かゝるも... せのほ... *

鴨川

賀茂景久

あゝ... *

御集

六條のみ

よ... 月... *

源光家今夜川

系議忠基

う... *

家集 夏河

雅有

か... *

日 鴨川

大宰大貳馬遠

と... *

長治元年六月匡房卿家奇合鴨川

よ... *

水籙

※ 光臺院親王家五十首

* 家隆

いよほれ入江のまのきもいよほれあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほし

※ 喜多院親王家五十首

* 前大納言兼宗

まはれいよほれあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほし

※ 堀河院仲時百首

* 匡房

まはれいよほれあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほし

※ 正治二年百首

* 喜多院二品

まはれいよほれあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほし

※ 喜多院、五十首

* 隆信朝臣

まはれいよほれあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほし

※ 文應元年七社百首

* 民部卿為相家入

まはれいよほれあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほし

※ 旅巻

* 俊頼

まはれいよほれあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほしあはれほしほし

此二首の故事拾葉ニ、セ
下ラニ註ス

仁和寺願文

※ 仲心

家集 菅大貳凡

※ 日

長祿三年六月常盤井家五百番寺合管照細流

※ 日

堀河院御時百首

隆源法師

※

家集中

好忠

※

日

日

※

* 日 河邊見管
* 日

結緣經百首

* 少將内侍

* 行路管

行路管

* 大納言經信

* 河管 雲葉

河管 雲葉

* 法印實仲

* 伊集管

伊集管

* 中務仰み

* 百首管 管火透簾

百首管 管火透簾

* 寐蓮

* 家集

家集

* 為相

* 為相

＊ 夏月夜のけしきもすもろくもあつかりてさきもさきもさきもさきも

千五百番奇合

後久我太政大臣

＊ 夏月夜のけしきもすもろくもあつかりてさきもさきもさきもさきも

弘安三年揺栖宮百首

安嘉門院四條

＊ 夏月夜のけしきもすもろくもあつかりてさきもさきもさきもさきも

十歌百首奇

及高橋

＊ 夏月夜のけしきもすもろくもあつかりてさきもさきもさきもさきも

六百番奇合 夏夜短

定家

＊ 夏月夜のけしきもすもろくもあつかりてさきもさきもさきもさきも

夏月

嘉元二年百首夏月

為相

＊ 夏月夜のけしきもすもろくもあつかりてさきもさきもさきもさきも

乾元二年仙洞奇合 夏月

為兼

＊ 夏月夜のけしきもすもろくもあつかりてさきもさきもさきもさきも

和名抄

山家夏月

俊頼

山家夏月の草書

紫陽草

久安首仰奇

崇徳院

紫陽草の草書

六帖歌

為家

六帖歌の草書

此等又本丁後之川を片と
あるはらふりしり新撰六
帖に傳し考家ゆきと
るの四院と守可平又兼

日

信實

日信實の草書

日

権僧正公朝

日権僧正公朝の草書

夏草

六百番奇合

有家

六百番奇合の草書

家隆

日
*
~~~~~

永安二年經正朝臣家計令及卒 正之後幸能

\*  
~~~~~

文永二年每首一首中 考家

*
~~~~~

貞應三年四卷百首夏朝 日

\*  
~~~~~

六帖歌 光俊

*
~~~~~

謀子内親と家計令夏羊 ようへん

\*  
~~~~~

之百六十首中 好忠

*
~~~~~

ちんかまのまへ

夏野

六帖類

衣笠の音

きんぎょのこゝろをうらやまふ女はあはれなれば  
あはれなればあはれなればあはれなればあはれなれば

牧遺火

百首中奇

喜多院

かきこもるるるるるるるるるるるるるるるるるる  
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

千首奇

為家

人よあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

日

日

あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

住吉社百首

善徳

あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

女

若原推親

あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ









~~~~~\*~~~~~

千五百番奇合

*小侍托

~~~~~\*~~~~~

天喜四年五月六條右大臣家奇合

\*源親元朝臣

~~~~~\*~~~~~

光聖院、家五十首 籠雀

*権律師隆昭

~~~~~\*~~~~~

長永三年為忠朝臣家奇合 兼思接子

\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~

洞院、家百首五月雨

*北葦壁門院但馬

~~~~~\*~~~~~

家集

\*船恒

~~~~~\*~~~~~


※ 惠慶
公ノ心ノ...

※ 房見友壽
鎌倉右大臣

※ 六帖歌
...

※ 家集
平氣盛
...

小倉集
夕顔
...

夕顔

六右番新令夕貞

後京極

※ 顯昭
...

...

...

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

~~~~~\* 日  
~~~~~\* 慈徳  
~~~~~\*

~~~~~\*  
~~~~~\* 下部魚道  
~~~~~\*

~~~~~\* 建保三年名所百首  
~~~~~\* 定家  
~~~~~\*

~~~~~\* 千五百番奇合  
~~~~~\* 日  
~~~~~\*

~~~~~\* 建保四年百首  
~~~~~\* 日  
~~~~~\*

~~~~~\* 隠居百首  
~~~~~\* 為家  
~~~~~\*

百首奇

西行

拾遺三十四下註

日*

知家

きつのもろとびり、格子の女もふをたきとるる、田舎りん

夕立

* 六百者令

* 有家

夕立、中みの、いそいそ、いそいそ、朝も、いそいそ、いそいそ

* 正治二年百首中

* 後鳥羽院

いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ

* 康久二年四季百首

* 定家

いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ

六帖歌

* 為家

いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ

* 永仁二年内裏令

* 為相

いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ、いそいそ

夏尋中

法印定園

※ 海道寄次百首 守山
為相

茅蜩

百首 卍

※ 土御門院

十歌 百首

※ 定家

建任之年 各所 百首

藤原康光

※ 後京極

千五百番 音合

※ 從三位 保孝

※ 日

納涼

同年武部親王家續千首 山家及 為相

~~~~~

貞應三年百首夏川 為家

~~~~~

夏中本のひのひも~~~~~ 俊頼

~~~~~

永仁元年楚忽百首 若原為歌

~~~~~

詞詠避暑對水石亭 巨術
班婕妤團雪之扇代筆凡
兮長迄燕昭王招涼之珠
常沙月兮自得
拾葉三十四下不註可見合

家集夏中 信實

~~~~~

正治二年百首 第三親王

~~~~~

隆房

~~~~~

泉

五社百首泉

俊成

あつらへるる松原の松をみれば松のうらみはなほなほ

曰

と原の松をみれば松のうらみはなほなほ

堀川院百首

俊頼

あつらへるる松原の松をみれば松のうらみはなほなほ

喜多院、家五十首夏哥

前大納言隆房

あつらへるる松原の松をみれば松のうらみはなほなほ

建長八年百長哥合

信實

あつらへるる松原の松をみれば松のうらみはなほなほ

百首哥

寂蓮

あつらへるる松原の松をみれば松のうらみはなほなほ

泉為夏栢

曰









※ 延喜十四年女四宮中房凡 貫之

すまひたあまのこほふまゝにたてまつるる

曰十八年東宮中房凡六月祓<sub>レ</sub>了<sub>レ</sub>日

此の<sub>レ</sub>まゝにたてまつるる

天慶二年二月貫之家乎冬<sub>レ</sub>晩夏<sub>レ</sub> 一人一人

せらりしとてまゝにたてまつるる

康保三年房凡六月<sub>レ</sub>まゝに 順\*

ふまゝにたてまつるる

文治六年五社百首夏後 俊成

ふまゝにたてまつるる

其和祓祇園百首 曰

と日やふまゝにたてまつるる

百首号 夏後 正三位忠定

ふまゝにたてまつるる



ふ日れみ...\*

百首号

安壽門院四空

あ...\*

百首号 荒和祓\*

家隆

み...\*

天仁二年十一月頭輔卿号合夏祓 琳賢法師

み...\*

堀川院百首 荒和祓

俊頼

せ...\*

百首号 唐崎夏祓

若原為頭

い...\*

三保

三保

三保

夫木集緊要中卷題

立秋

初秋

殘暑

七夕

秋

女郎花

薄

荇萱

萩

蘭

槿花

秋野

鹿

雁

秋田

月

駒迎

霧

秋風

野分

秋雨

露

秋夕

虫

鶉

鳴

擣衣

秋霜

葛

檀

秋山

葛

柞

檀

菊

桐

紅葉

暮秋

九月盡

枯野

初冬

時雨

落葉

殘菊

冬雨

霜

寒草

冬風

冬月

水鳥

衾

網代

冬雜

雪

野行幸

氷

霰

雲

冬梅

炭竈

鷹狩

賀茂臨時祭

神樂



佛名

爐火

歲暮

夫木集緊要卷中

立秋

※ 六帖題

※ 衣笠内大臣

堀川院市時百首立秋

※ 中納言國信

※ 建保二年内裏十五番合

※ 順徳院

※ 僧正行意

日

※ 後鳥羽院

※ 後成

※ 千五百番合

日

※ 後成







日 定家  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは

日 有家  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは

日 寂蓮  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは

十七

日 俊成  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは

日 季経  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは

日 舜道  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは  
あまのこころをたのむるは

入道真の心

入道前太政大臣

家集七夕會中  
權信正公朝

日雜會中  
家持

七月五日  
延喜天皇

寬治五年  
從二位源賴朝家會  
康賢之母

老若五十首會  
嘉陽門院越前

子五百番會  
宣統門院冊後

建保三年  
八月裏七夕會  
定家

孝... \*  
...

家五十四首

喜多院入道二宮親王

孝... \*  
...

一字百首

定家

孝... \*  
...

正治二年百首

源師光

孝... \*  
...

永延二年七月七日寶資朝臣家言合 鈴虫

孝... \*  
...

秋

孝... \*  
...

文永二年白川殿七百首

知家

十五百番守合

宣秋門院母後



しほの栞はねのよきしらべのきりぎりすのさけ

※ 歌一子

あふきのつねのさけのさけのさけのさけのさけ

※ 家集 ぬき道歌

仲正

しほの栞はねのよきしらべのきりぎりすのさけ

※ 家集

俊頼

見ゆればおのれさきさきさきさきさきさきさき

※ 日草花歌集

※ 日

あふきのつねのさけのさけのさけのさけのさけ

後法性寺入道閑白家百首

俊成

あふきのつねのさけのさけのさけのさけのさけ

※ 家集 歌

※ 和泉式部

あふきのつねのさけのさけのさけのさけのさけ

日草花歌集

仲正



※ 百首御奇名所秋 \* 土御門院

※ 文永五年九月十六日内裏奇合 \* 德大寺左大臣

※ 日七年毎日一首中 \* 為家

元永二年七月内裏家奇合草花 基俊

※ 建保四年内裏奇合 \* 為家

※ 百首奇 \* 為家

野外秋人家 \* 為家

※ 野原行資 \* 為家

※ 野原行資 \* 為家

※ 野原行資 \* 為家

※ 野原行資 \* 為家

※ 野原行資 \* 為家

野原行資 \* 為家

※ 野原行資 \* 為家

※ 野原行資 \* 為家

女郎花

※ 親子内親王家野宮令合 \* 藤原有忠朝臣

~~~~~

永久四年七月令合女郎花 * 菅原道経

~~~~~

※ 仁安二年八月経盛御家令合草花 \* 安蓮

~~~~~

※ 女郎花 * 西行

~~~~~

薄

※ 建長八年百首歌合 \* 後九條内大臣

~~~~~

※ 承安五年七月左大臣家令合野凡 * 法性入道園白家母後

~~~~~



家集

\* 西行

おのゝとてふはるるのうらみはなほなほとてふはるる

\* 日

\* 知家

あはれとてふはるるのうらみはなほなほとてふはるる

\* 布引百首

\* 法親王澄覺

あはれとてふはるるのうらみはなほなほとてふはるる

\* 野薄人家

\* 若原教副

あはれとてふはるるのうらみはなほなほとてふはるる

\* 天慶八年申宮七十賀西宮凡

\* 源信明

あはれとてふはるるのうらみはなほなほとてふはるる

\* 百首中奇訣

\* 順徳院

あはれとてふはるるのうらみはなほなほとてふはるる

\* ねのつとて大峯よて

\* 光臺院親王

あはれとてふはるるのうらみはなほなほとてふはるる

菊

百首等 菊 萱 草 花 葉 等 類 集

風 吹 草 花 葉 等 類 集 菊 萱 草 花 葉 等 類 集

古 來 等 令 國 菊 萱 草 花 葉 等 類 集

う ら 人 花 葉 等 類 集 菊 萱 草 花 葉 等 類 集

萩

\* 十 題 百 首 等 萩 萱 草 花 葉 等 類 集

永 久 三 年 大 神 宮 祓 宜 寺 令 萩 萱 草 花 葉 等 類 集

六 帖 題 信 實

後 九 條 内 大 臣 萩 萱 草 花 葉 等 類 集

皇 治 三 年 百 首 萩 萱 草 花 葉 等 類 集

後 九 條 内 大 臣 萩 萱 草 花 葉 等 類 集

皇 治 三 年 百 首 萩 萱 草 花 葉 等 類 集

後 九 條 内 大 臣 萩 萱 草 花 葉 等 類 集

千五百番合  
\* 雅經

萩をみる花抄  
\* 俊成

少神を  
\* 恩覺法師

建長七年頭朝知家續十首海辺萩

\* 光俊

蘭

家集 蘭

\* 源有仲

中務の

\* 二百首

録倉



槿花

建保四年百首序

\* 光明寺

よりのけしきもあはれなるをちかぬる

\* 百首序

\* 家隆

あはれなるけしきもあはれなるをちかぬる

\* 曰 槿花

\* 寂蓮

あはれなるけしきもあはれなるをちかぬる

秋野

久安百首

俊成\*

あはれなるけしきもあはれなるをちかぬる

\* 後京極

あはれなるけしきもあはれなるをちかぬる

鹿

百首序 鹿

岸達

天徳三年八月女房前裁哥合と笑のふくもみふりふりて  
※

元真

※

文治六年五社百首号

俊成

※

四季百首号

慈鎮

※

百首号

※

家真

俊頼

※

二夜百首号合

俊京極

※ 家集 唐を

家集 唐を

\* 惠慶

※ 家集 唐を

※ 為家百首

家隆

※ 五十首 秋十五首中

五十首 秋十五首中

\* 日

※ 家集 秋窓鹿

家集 秋窓鹿

\* 日

※ 名所 高瀬山秋

名所 高瀬山秋

\* 為相

※ 子五百番奇合

子五百番奇合

\* 寂蓮

※ 建保三年名所百首

建保三年名所百首

知家

※  
.....  
.....  
.....

※ 元久元年詩哥合山路秋行  
.....  
.....  
.....

.....  
.....  
.....

※ 承安三年七月右大臣家哥合鹿  
.....  
.....  
.....

.....  
.....  
.....

故郷鹿  
.....  
.....  
.....

.....  
.....  
.....

寅睦四大王院名所市障子  
.....  
.....

.....  
.....  
.....

光明峯寺...家三首哥合  
.....  
.....

.....  
.....  
.....

※ 家集  
.....  
.....

.....  
.....  
.....

題を.....寺山鹿 為相



※ 建久三年九月十三夜大将家よりありて 定家 ※

あまのさきさき ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ

正治二年百首

※ 後京極

あまのさきさき ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ

百首寺 雲間初雁

※ 寂蓮

あまのさきさき ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ

貞應百首寺

※ 光明寺

あまのさきさき ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ

建長七年願朝仰家續十首雁思湊 信實

秋田

※ 家集

好忠

あまのさきさき ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ

※ 田のりか

※ 西行

あまのさきさき ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ ともよみ







家集月歌中

西行

月あけのささぎの葉をよみてはしるる

月\*

\*

日

池のほとり月影のささぎの葉をよみてはしるる

題不知

西園寺太政大臣

あけのささぎの葉をよみてはしるる

北野社百首御歌

後鳥羽院

ささぎの葉をよみてはしるる

○\*

西行

月影のささぎの葉をよみてはしるる

月歌中

後頼

ささぎの葉をよみてはしるる

法性寺入道 家歌合

顯仲朝臣

ささぎの葉をよみてはしるる

※ 永元三年重家命合月 \* 源通能朝臣  
秋

※ 安元三年閏九月命合寄枕月 \* 賴政  
妹

※ 正應三年内裏御會曉月 \* 前大納言為世  
里

※ 百首御奇 \* 順徳院  
み

◎ 千五百番奇合 \* 季経  
あ

月 \* 小侍従  
あ

※ 建仁元年十二月命合山家秋月 \* 寂蓮  
あ

文永七年毎日一首中  
為家

月...送...秋...  
\* 前各議雅有

式部卿親王家十五夜沙會  
\* 家隆

申...  
\* 定家

家集  
\* 家隆

長月...  
\* 定家

文治五年百首  
\* 定家

月...  
\* 前大納言隆房

喜多院入道...家五十首  
\* 家隆

月...  
\* 家隆

四季百首月  
\* 家隆

月...  
\* 元祐法師

永冬三年五月大神宮社...  
\* 元祐法師

月...  
\* 元祐法師

十五百番奇合

~~~~~

* 第三御子 *

* 弘安元年百首

後九條内大臣

~~~~~

\* 家集

家隆

~~~~~

駒迎

堀河院百首

權中納言師時

~~~~~

\* 賀茂社百首

慈慧

~~~~~

百首夜半駒迎

山寂道

~~~~~

弘安五年新熊野奇合

安嘉門院四條



※ 杉の葉は秋の風に見ゆればさびしきものありて  
\* 若原茂次

※ 六帖題  
\* 為家  
さきさきの葉は秋の風に見ゆればさびしきものありて

※ 六百番奇合  
\* 意録  
さきさきの葉は秋の風に見ゆればさびしきものありて

※ 隆信  
\* 野久  
さきさきの葉は秋の風に見ゆればさびしきものありて

※ 西洞徳士奇  
\* 後京極  
さきさきの葉は秋の風に見ゆればさびしきものありて

※ 六百番奇合  
\* 日  
さきさきの葉は秋の風に見ゆればさびしきものありて

嘉禄二年百首  
権僧正公朝

秋雨

秋の雨の音は心ゆくも聞きし  
\* 秋の雨の音は心ゆくも聞きし \*

\* 六百番古今秋雨

後京極

あつた雨の音は心ゆくも聞きし  
\* あつた雨の音は心ゆくも聞きし \*

六帖題

知家

夕の雨の音は心ゆくも聞きし  
\* 夕の雨の音は心ゆくも聞きし \*

正治二年百首中

後鳥羽院

あつた雨の音は心ゆくも聞きし  
\* あつた雨の音は心ゆくも聞きし \*

毎一首中

為家

あつた雨の音は心ゆくも聞きし  
\* あつた雨の音は心ゆくも聞きし \*

月

為相

あつた雨の音は心ゆくも聞きし  
\* あつた雨の音は心ゆくも聞きし \*

式抄中

定家

あつた雨の音は心ゆくも聞きし  
\* あつた雨の音は心ゆくも聞きし \*





新...  
...

建保二年名所百首

從三位範宗

あ...  
...

秋亭中

為無

心...  
...

秋夕

六帖題

衣笠内大臣

秋...  
...

虫

西洞居士七百首

後京極

あ...  
...

家集秋亭中

句

あ...  
...

弘長元年百首

信實

.....\*

建保二年秋十五首并合 秋虫 雅经

.....\*

同三年名所百首 \* 俊成女

.....\*

\* 十五番并合 \* 後京極

.....\*

惟貞親王家并合 \* 在原元方

.....\*

日 \* 興凡

.....\*

\* 衣笠内大臣

.....\*

永久四年百首相虫 忠房









永仁元年楚忽百首

為相

~~~~~

※

家隆

~~~~~

七百首奇 掃衣

僧正公朝

~~~~~

秋霜

建保二年内裏十五首奇合

僧正行意

~~~~~

六百番奇合 秋霜

後京極

~~~~~

家隆

~~~~~

日

家房

秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも

秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも

葛

秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも

秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも

秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも

秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも  
秋の風をよみてはしるすも

菊

菊花臨水一字抄

大藏卿行宗



※ 家集 菊宴の時

※ 天慶八年 内裏御存見

天曆七年十月内裏御存見に

※ 題不知 吉未哥

※ 家集 仙宮菊くら

※ 如覺法師

※ 帝磐井百首 水岸菊

※ 仲正

家集九月十三夜

西行

~~~~~\*~~~~~

長承三年九月十三日 影浦御寺合月 荻原忠兼

~~~~~\*~~~~~

家集五行奇中黄

後京極

~~~~~\*~~~~~

九十九首菊奇中

為實

~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~

※ 月  
光臺院... 家五首 残菊白  
◎ 日  
\*  
...

※ 光臺院... 家五首 残菊白  
\* 範宗  
...

※ 永久二年大神宮祓豆令菊  
\* 仲實  
...

※ 四年百首 九月九日  
仲實  
...

※ 山寺令... 残菊也  
\* 實家  
...

建保四年百首  
\* 定家  
...

※ 正嘉三年每首一首中  
為家  
...

※ 六帖題

~~~~~

※ 信實

※ 奇林苑奇合菊を

※ 清輔

~~~~~

橋辺菊

※ 隆祐

~~~~~

※ 家集

~~~~~

秋山

正治二年仙洞十首奇合山花

※ 定家

~~~~~

※ 百首奇遊山催興

※ 寂蓮

~~~~~

秋奇中

常磐丹太政大臣

~~~~~\*

* 康元二年毎一首中秋奇* 為家
~~~~~

葛

\* 文治六年五社百首  
~~~~~\* 俊成

* 百首奇古寺紅葉
~~~~~\* 慈鎮\*

柞

\* 六百番奇合柞  
~~~~~\* 季経

* 六帖題
~~~~~\* 信實

巾集 林葉

中務のみ 後合





※ ..... 定家

※ ..... 仁安三年奈良寺合 ..... 濟祐法師

..... 村上御時殿と紅葉合

..... 元輔

..... 堀川右大臣

..... 白河

..... 仁安三年八月経盛佛家寺合紅葉

..... 刑部卿頼輔

..... 俊盛法師

..... 日

.....

.....

.....



\* 百首奇 旅宿如雲

~~~~~

* 家隆

* 家集 紅葉

~~~~~

\* 俊頼

南北百番奇合

~~~~~

* 後京極

洞院 家首 紅葉

~~~~~

\* 光明寺

\* 建保四年百首

~~~~~

* 定家

* 縮荷行幸時

~~~~~

○ 周防内侍

\* 門妙社奇合 紅葉盡

~~~~~

* 神祇伯頭仲

元良親王家并合
* 菅原 道隆
...
...
...

* 日
...
...
...

暮秋

* 建保四年百首
* 定家
...
...
...

* 武中
* 日
...
...
...

六百番并合書秋

* 有家
...
...
...

* 顯昭
*
...
...
...

正治二年百首

总鎮

秋のまほろけりてわづらひささきとてよほりて声よめりてのさき

※ 文治六年五社百首初冬 俊成

※ 百首寺 初冬 衣笠内大臣

※ 建長八年百首寺合 左近中将具氏

※ 堀河院百首初冬 國信

時雨

※ 建保四年内裏十首寺合 順徳院

※ 大神宮百首御寺 後鳥羽院

千五百首言合

~~~~~ \* 忠良

\* 家集 冬山

~~~~~ \* 為家

* 家言合 時雨を

~~~~~ \* 為相

家集 姓名

~~~~~ \* 如願法師

老若五十首言合

~~~~~ \* 善法

家集中

~~~~~ \* 信實

冬言合 吉原言合

~~~~~ \* 六條のみと歌

夕附

~~~~~ \* 夕附


※ 家十首奇合字樹交松
後京極
※

※ 六百番奇合 藤原
家蓮
※

※ 正治二年百首
日
※

家集冬奇中
※ 後京極
※

※ 六百番奇合 藤原
家隆
※

日
※ 家房
※

建保四年由裏十首奇合
西園寺太政大臣
※

* 十五番奇合

~~~~~

\* 慈然

六帖歌 冬嵐

光俊

~~~~~

* 為家卿家百首

家隆

~~~~~

百首奇

舜道

~~~~~

* 建長公年百首奇合

後九條内大臣

~~~~~

日

信實

~~~~~

* 葉之与右大臣家奇合 為葉 清輔

~~~~~

※ 曰  
\* 仲正

※ 曰  
\* 資忠

建保五年内裏言合 冬川風 正三位忠定

※ 曰

※ 曰 四年百首言

※ 定家

家集

※ 後徳天寺左大臣

十五百番言合

※ 後久我太政大臣

残菊

六百番言合

残菊

季经



六帖題  
言實

霜

※ 建保之年名所百首中奇 \* 順徳院

※ 正嘉元年毎口一首中 \* 為家

※ 文永六年毎口一首中 \* 日

※ 六帖題霜 \* 光俊

建仁元年十首中令 荒吹草 俊成

※ 六帖題霜 \* 光俊

※ 建仁元年十首中令 荒吹草 俊成

※ 六帖題霜 \* 光俊

※ 建仁元年十首中令 荒吹草 俊成

※ 六帖題霜 \* 光俊

寒草

※ 家集冬亨中

※ 西行

あまのついでに... 西行の歌

永久元年十月亨令 辛草

※ 後鳥羽院

あまのついでに... 後鳥羽院の歌

※ 百首中亨

後鳥羽院

あまのついでに... 百首中の歌

六帖題

衣笠内大臣

あまのついでに... 六帖題の歌

建仁三年新宮亨令 光俊

乾光

あまのついでに... 乾光の歌

文治六年五社百首

※ 俊成

あまのついでに... 俊成の歌

※ 六帖題

※ 光俊

あまのついでに... 光俊の歌

正治二年百首

隆房

家集

俊頼

冬風

冬風

講子内親王家守令

式部

有寂

六百番守令 権柴

隆信

正治二年百首

五首御守

後鳥羽院

後京極

五行守

五行守

後京極

〇  
 \* 平泰時  
 \*

冬月

\* 建保五年内裏寺合冬月  
 \* 推大納言忠信  
 \*

\* 老若五十首寺合  
 \* 後京極攝政  
 \*

\* 百首中寺  
 \* 土御門院  
 \*

\* 順徳院  
 \*

\* 宝治二年百首冬月  
 \* 後九條内大臣  
 \*

正安五年内裏當座

\* 為魚

~~~~~

正治二年百首

* 忠良

~~~~~

日

\* 此後

~~~~~

家集月前字家

* 前民部御雅有

~~~~~

建長五年每口一首中冬吃月 \* 為家

~~~~~

六帖題

* 同

~~~~~

\* 同

\* 信實

~~~~~


家集冬夜月九首

建禮門院右京大夫

※ 秋の月や木の葉の影もささげしき夜もささげしき冬は月

※ 家集 古本奇合

※ 登道法師

※ 冬は月や木の葉の影もささげしき夜もささげしき冬は月

久安三年十二月頭輔卿家奇合冬月

※ 冬は月や木の葉の影もささげしき夜もささげしき冬は月

冬雨

※ 弘長二年毎一首中 為家

※ 冬は月や木の葉の影もささげしき夜もささげしき冬は月

※ 承久二年四季百首 冬雨 家隆

※ 冬は月や木の葉の影もささげしき夜もささげしき冬は月

六帖題 冬雨

光俊


~~~~~\*~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~

十鳥

~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~

~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~

※ 堀河院百首

師時

あはれなる御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は

月を照らす御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は

※

\*

菅原敏行朝臣

あはれなる御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は

貞應二年宮中百首 院渡十首

\* 為家

あはれなる御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は

※

神樂を和する寺中

※

僧正公朝

あはれなる御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は

家集冬寺中

\*

家隆

あはれなる御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は

※

河内十鳥を

俊頼

あはれなる御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は 御心は

百首寺中

宗念法師

あまのりつゝむらさき... ※

※ 中務親王家奇合 十鳥 \* 公朝

あまのりつゝむらさき... ※

※ 貞應三年百首 \* 為家

あまのりつゝむらさき... ※

※ 家集浦子鳥 \* 仲正

あまのりつゝむらさき... ※

※ 建仁三年老若五十首奇合 \* 定家

あまのりつゝむらさき... ※

※ 正治二年百首 \* 寂蓮

あまのりつゝむらさき... ※

※ 光豊院... 家五十首 出十鳥 \* 光経

あまのりつゝむらさき... ※

建保三年名所百首 知家

※  
~~~~~

※ 三百首行

中務卿公の鎌倉

~~~~~

子鳥古来行合

定教法師

~~~~~

※ 法性寺入道・歌行合旅泊十卷

若原威方朝臣

~~~~~

※ 家集 松辺十卷

後醍醐

~~~~~

◎ 正治二年百首行

喜多院

~~~~~

※ 建長八年百首行合

藻壁門院小宰相

~~~~~

十五百番行合

土御門内大臣

※ 家集

後京極

~~~~~

十五百音奇合

※ 煎納言德宗

~~~~~

※ 曰

※ 第三の歌

~~~~~

家集 少と落葉

※ 仲正

~~~~~

百首奇中

※ 岸遠

~~~~~

仁安二年奇林苑奇合水奇

※ 荻原憲盛

~~~~~

嘉應二年七月法住寺殿奇合 水鳥近馴

隆房

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

※ 天仁二年之月比叡山寺合鴨 \* 主人

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

※ 仁安二年寺林苑寺合水鳥 * 頼政

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

※ 家集一百首 \* 喜多院

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

※ 嘉應元年五月觀智法眼房寺合水鳥 * 人

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

※ 喜多院入道家五十首 寂蓮 \*

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

※ 六十五韻寺 敬神喻禮在徑鳥 定家 *

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

喜多院... 家五十首 句



水...※

家集...※ 惠慶...※

水鳥...※ 志良...※

水

寂勝四天王院名所御障子...※ 俊成女...※

家集冬雪中...※ 家隆...※

嘉元三年三十首...※ 為家...※

堀河院百首...※ 俊賴...※

※ 洞院攝政家百首

家長朝臣

~~~~~

曰 氷

* 曰

~~~~~

※ 二夜百首序

\* 後京極

~~~~~

※ 六百番并合

* 曰

~~~~~

※ 家集

\* 曰

~~~~~

三十六人并合

* 寂蓮

~~~~~

※ 貞應二年名所百首

\* 為家

~~~~~

洞院、家百首

* 信實 *

山崎の... 凡ち... 喜多院... 家五十首

* 喜多院... 家五十首 *

* 隆房 *

谷川の... 日

* 日 *

* 眞宗 *

... 後鳥羽院宮内

十五番寺合

後鳥羽院宮内

... 承安五年三月重家御言合

* 池邊室 盛昌俊法師 *

... 源仲正

* 家集 氷碓舟 *

* 源仲正 *

... 百首寺

* 百首寺 *

* 家隆 *

... 六五一

今宮御會氷殿舟

仲心

~~~~~\*~~~~~

\* 正治三年百首

\* 二條院讚岐

~~~~~

氷逐日結

* 權中納言長方

~~~~~

洞院、家百首氷

為家

~~~~~\*

* 六帖題

* 曰

~~~~~

久安百首

實清朝臣

~~~~~\*

* 百首可巖氷

光俊

~~~~~\*

※ 十五番計合  
※ 寂蓮  
霰

※ 正治二年百首  
源師光

父乎中  
※ 中原師光

久安百首  
※ 清輔

※ 文治六年女御入内  
三條入道左大臣

※ 西行





※ 六百番号合寒松  
寂蓮  
松母乳

※ 百首号  
日  
為魚

※ 君臣御号合  
為魚

※ 六帖題  
為家

粟

※ 六百番号合粟  
慈鎮

日  
寂蓮

日  
家隆



家集雪

清輔

雪埋遠山とて

雪埋遠山とて

堀河右大臣

寛治八年八月京極園白家寺合雪

寛治八年八月京極園白家寺合雪

俊頼

嘉祿四年百首

嘉祿四年百首

為家

家集

家集

鴨長明

冬御寺の甲

冬御寺の甲

中務卿

前信正源忠景深山瀬田橋

前信正源忠景深山瀬田橋

為相

六五七



後京極、家十首、合、釋中、院、家隆  
\* \* \* \* \*  
中山

安元二年潤九月、令、月、照、山、曾、  
\* \* \* \* \*  
賴政

正治二年百首  
\* \* \* \* \*  
三條入道左大臣

喜多院、家五十首  
\* \* \* \* \*  
隆信

石清水三百首、令、月、前、曾、  
\* \* \* \* \*  
土御門内大臣

日  
\* \* \* \* \*  
後鳥羽院宮内

日  
\* \* \* \* \*  
俊成

喜多院...家五十首 閑居\* 家隆

~~~~~

* 十五番奇合 * 日 *

~~~~~

六百番奇合 冬朝 \* 寂蓮

~~~~~

* 十五番奇合 * 野宮左大臣

~~~~~

\* 百首奇合 \* 安嘉門院四條

~~~~~

君臣御奇合 * 為兼

~~~~~

\* 安元三年十月右大臣奇合物雪 清輔

~~~~~

※ 家集

※ 和泉式部

あまのりなむらさき... 月

※ 正治二年百首奇

※ 後京極

あまのりなむらさき... 月

曰仙洞十首奇合

※ 曉雪

定家

あまのりなむらさき... 月

※ 家集五首奇中

※ 寂蓮

あまのりなむらさき... 月

※ 月

※ 少将内侍

あまのりなむらさき... 月

南北百番奇合 山家

※ 後京極

あまのりなむらさき... 月

家集 雪中遠望

※ 月

あまのりなむらさき... 月

※ 弘安元年百首

~~~~~

※ 行家

※ 石清水三首并合月前雪

~~~~~

※ 忠良

~~~~~

※ 匡房

~~~~~

文治六年五社百首

※ 俊成

~~~~~

※ 法性寺関白家百首雪

※ 月

~~~~~

※ 光明寺家百首林雪

※ 总集

~~~~~

※ 建仁元年老若五十首并合

日

~~~~~

百首号 雪朝眺雪

* 森蓮

~~~~~\*~~~~~

\* 建保五年内裏号合号

兵衛内侍 \*

~~~~~\*~~~~~

百首号中

* 定家

~~~~~\*~~~~~

洞院・家百首号

\* 依成女

~~~~~\*~~~~~

百首号 故郷雪

* 為家

~~~~~\*~~~~~

建長三年名所百首

\* 忠定

~~~~~\*~~~~~

* 六帖題

* 光俊

~~~~~\*~~~~~

野行幸

永久四年百首野行幸

\*源宗昌

鷹狩

文治六年五社百首

\*俊成

久...

賀茂臨時祭

同十二月女御入内御奉見 賀茂臨時祭

\*後法性寺

久...

\*月

\*隆信

久...

神樂

堀河院百首神樂

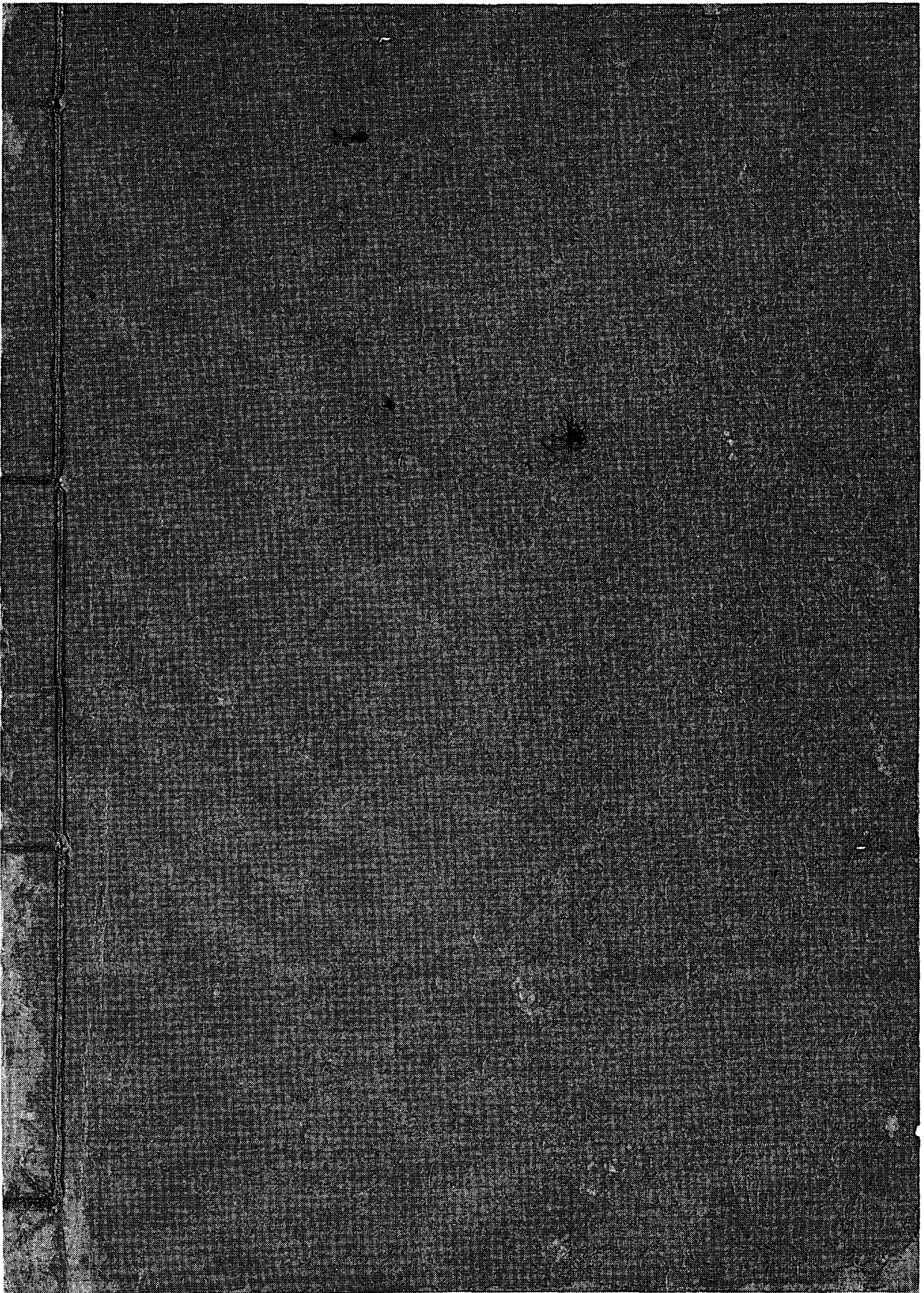
公實













大木和歌集跋西女雜

|     |
|-----|
| 22E |
| f34 |
| 2   |

夫木集緊要下卷題

天象

雨 朝 山 谷 橋 杜 烟 鳴 沼 泊 渡 泥

日

滴 晝 松 岡 關 牧 巖 澳 浦 津 岸 于

星 火 夕 嶺 坂 野 田 石 江 鹽 磯 洲 水

風 煙 夜 根 隈 原 畠 海 濱 崎 淀

雲 曉

嵩 路 林 岡 油 河 瀉 迫 隴 門



水葱 忘草 海松 淺茅 草 鮒 蝶 龜 猪 庭 都 睢 鷄 鳥

芝 管 藻 茅 竹 蓑 貝 牛 增 鷓 鷓 雞 鶴

律 萱 薦 蔓 篠 守 蝸 馬 箱 鷓 鳩 鷹 鷺

芭 紅 蓬 鞭 苔 魚 蜻 猿 虎 雀 鳩 木 鵲

木 蓼 思 蘆 山 鯉 蛛 犬 熊 山 放 泉 鳥

松 杏 榆 寸 國 開 隣 床 籬 御 嘗 卒 衣 筏  
乃 居 鄰 床 籬 御 嘗 卒 衣 筏

椿 柏 檜 柳 仙 窟 山 窓 文 杖 玉 綾 舟

楸 椎 櫻 柴 都 宅 田 戶 刀 蓑 鏡 糸 梶 楸

檜 栗 桴 故 鄉 廬 郡 門 弓 笠 枕 車 網

李 槻 合 歡 水 故 宮 屋 里 墻 箭 鐘 簾 槲 網

神祇 父 遊女 垂髮 王昭君 賀 夢

社 稚子 樵夫 里子 陵園妻 元服 戀

寺 未通女 山老 唐人 旅 言語

民 使人 賤人 楊貴妃 眺望 迷懷

公羽 海人 總角 李夫人 哀傷

夫木集緊要卷下

天象

※ 老若百首奇合

※ 寄蓮

※ 六帖歌御奇

※ 中務御奇

※ 信實

日

※ 百首奇

※ 為家

※ 雅經

※ 鳴社

※ 星

星

也

日 夜 夜

The ... ..

...

...

The ... ..

...

也

The ... ..

...

...

也

The ... ..

...

也

The ... ..

...

...

The ... ..

...

...

及凡の... 秋... 凡

永仁元年八月十五夜五首月前秋凡

為家

ゆ... 凡... 秋... 凡

簾中雪

仲正

ゆ... 凡... 雪... 凡

堀河院百首

仲實

ゆ... 凡... 院... 百首

保延四年定家卿家言合月

大江維順朝臣

ゆ... 凡... 年... 定家卿家言合月

常磐丹百首谷辻凡

仲正

ゆ... 凡... 丹... 百首谷辻凡

冬奇中

大藏卿家季

ゆ... 凡... 奇... 中







文永元年七社

ゆき... 為家 \*

北野宮百首

と... 中務卿...

煙

建長四年百一首中

あ... 為家 \*

十五百番百首

あ... 俊成 \*

正治二年百首中

あ... 前大納言隆房 \*

菅原贈太政大臣

あ... 中務卿...

六帖歌

中務卿...



夕

千五百番子令

野宮左大臣

乾元二年仙洞子令夕

為家

夜

六帖題

信實

月夜中

日

山

永仁元年龜山殿十首 山館暮秋 龜山院

日三年家子令

為相

山寺明月  
御集嶺  
六帖歌水  
家隆  
為家  
中務卿  
頭仲

堀河院百首  
山寺明月  
御集嶺  
六帖歌水  
家隆  
為家  
中務卿  
頭仲

堀河院百首  
山寺明月  
御集嶺  
六帖歌水  
家隆  
為家  
中務卿  
頭仲

堀河院百首  
山寺明月  
御集嶺  
六帖歌水  
家隆  
為家  
中務卿  
頭仲

堀河院百首  
山寺明月  
御集嶺  
六帖歌水  
家隆  
為家  
中務卿  
頭仲

堀河院百首  
山寺明月  
御集嶺  
六帖歌水  
家隆  
為家  
中務卿  
頭仲

堀河院百首  
山寺明月  
御集嶺  
六帖歌水  
家隆  
為家  
中務卿  
頭仲

堀河院百首

即時

孝... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... \*

宝治元年百首

冷泉太政大臣

松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... \*

松久

知家

松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... \*

六帖松久

光俊

松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... \*

百首

西行

松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... \*

百首

後鳥羽院

松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... \*

日

光明寺

松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... 松久... \*

家集

和泉武部

正治二年百首

正治二年百首

忠良

五十首奇

五十首奇

家隆

大嘗會悠紀方御屏凡

大嘗會悠紀方御屏凡

俊成

正治二年百首奇

正治二年百首奇

後京極

細院・家百首

細院・家百首

從二位賴氏

迷懷百首中

迷懷百首中

俊賴

後京極・教詩吟合纂中眺望

後京極・教詩吟合纂中眺望

光明寺



長承三年九月頒輔卿家奇合 紅葉 琳賢法師

置一字四一首中

建保三年名所百首奇 藤原康光

正治二年百首 第三の文

子五百考奇合 以京極

嘉元二年百首 入道前太政大臣

建長八年家百首 以九條四郎臣

建長八年家百首

河津小室あけかゝる女もかたじけなくもてはるる日とて

三百六十首中

好忠

女もかたじけなくもてはるる日とて

神祇奇中

九條左大臣女

二重山ひらきしるねのちりやうとて

家集

鴨長明

みのねのちりやうとて

弘長元年百首花

後九條内大臣

凡そかたじけなくもてはるる日とて

百首奇

家隆

あけかゝる女もかたじけなくもてはるる日とて

十五百番奇合

顔昭

あけかゝる女もかたじけなくもてはるる日とて

松

※ 六帖題

光俊

※ 百首奇拙書目

※ 家隆

五行奇木

※ 後京極

光明孝子... 家百首河

山嶺

信實

正治二年百首

土御門内大臣

※ 千五百番奇合

雅經

嘉元三年楚忽百首

為實

あゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝ

建保三年名所百首

從三位純宗

あゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝ

正治二年百首

忠良

あゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝ

根

貞應二年六月名所百首

為家

あゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝ

百首抄奇合

順徳院

あゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝ

月照瀧水

西行

あゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝ

家集

大納言経信

あゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝあゝのあゝをささるゝ

正治三年百首

後京極

萬

待録經百首

為家

秋奇中

赤議實俊

隆祐

谷

光臺院...家。溪雲

花月百首

後京極

為家

文和三年每百首

為家

家集花

西行

~~~~~\*~~~~~

建長八年百首奇合

從一位良教

~~~~~\*~~~~~

岡

家集人の女に裳衣着の所を蘭をりし

清輔

~~~~~\*~~~~~

宝治二年百首 岡篠

正二位忠定

~~~~~\*~~~~~

文永二年七月白川七首

源俊平朝臣

~~~~~\*~~~~~

天曆御時名所卅首

信明朝臣

~~~~~\*~~~~~



路

女御入内御所見

※  
\* 定家

千五百番守令

※  
\* 家長朝臣

日

後京極

※

九十九首菊中

為實

※

應和三年九月河原院并各薄招人

※  
\*  
西行

家集

\*  
\*  
西行



十五番奇合

依成女

蒙古字音

家集雜奇中

西行

蒙古字音

百首奇山路

雅經

蒙古字音

家集 雪尔

如覺法師

蒙古字音

橋

六百番奇合

顯昭

蒙古字音

六帖題

中務之經合

蒙古字音

法眼慶融

梧桐工作※ ※

百首御歌

※ 喜多院……

山…… ※

御集中

※ 後鳥羽院

石上…… ※

家集

※ 光明寺……

中…… ※

日 梧とあれ

※ 如覺法師

如…… ※

平政村朝臣

※

最勝…… ※

最勝四天王院名所御障子

※ 有家

後京極…… ※

家寺合署中眺望

慈鎮

ほのろくろく... 秋の物... けり... 秋風... \*

永久四年九月雲居寺後番奇合霧 覺威法師

きんりん... 意尊法師

為忠勅臣家名所奇合入...

みんは... 中務卿みこ

秋御年中

のの... 鴨長明 \*

家集

の... 藤倉右大臣

答凡... 建仁二年五十首

藤倉右大臣

の... 後鳥羽院宮内

建仁二年五十首 松下花

の... \*





~~~~~\*~~~~~  
~~~~~\*~~~~~

久安百番

待賢門院安藝

~~~~~\*~~~~~

建保三年名所百首

正二位家衡*

~~~~~\*~~~~~

家集述懷百首中

清輔

~~~~~\*~~~~~

四季百首野

*家隆

~~~~~\*~~~~~

光基院...親王家五十首 野徑月

~~~~~\*~~~~~

堀河院百首野

基俊

~~~~~\*~~~~~

\* 日  
仲實

\* 冬号中  
道因法師

長承三年六月常盤丹五番立會 野経草深

俊成

\* 六指歌  
信實

\* 建保三年名所百首  
正二位忠定

\* 御集月五首中 野月  
後鳥羽院

\* 文應元年七社百首  
為家







貞應三三首眺望

※ 浮島原を望みて 他阿上人

浮島原を望み

※ 影をうつし 業清朝臣

冬市中

※ ちりちりや 順

親子内親王家よりありて

※ 神の守り 大蔵卿隆教

正安大會所と名と

※ 夕の光を 八條院高倉

百首奇

※ 冬はゆめを 北畠源親房

門妙社寺合歌を

※ 春はあけぼの 七〇五

\* 永久四年百首原

\* 仲實

~~~~~

家集

* 定家

~~~~~

正治二年百首

\* 喜多院

~~~~~

林

永仁元年九月龜山殿十首林頭暮秋 権中納言公雄

~~~~~

日

\* 大藏卿重經

~~~~~

家集 林中権

* 仲正

~~~~~

日

和泉式部

よつてふもあはれとさへん人あはれ申のさしめりのさへん

杜

雑言中

権僧正公朝

~~~~~の春よ花ささく老母とささく~~~~~の森

建仁元年五十首

後京極

~~~~~松よすあ~~~~~さきつらやま~~~~~

柿本影供百首

後九條内大臣

~~~~~の森の木の~~~~~あはれ~~~~~

~~~~~の~~~~~の~~~~~人あり

惠慶

人のあはれ~~~~~あはれ~~~~~あはれ~~~~~

洞院・家百首紅葉

隆祐

~~~~~あはれ~~~~~あはれ~~~~~あはれ~~~~~

牧

※
知家

○*
日 秋田
知家

※
日
光俊

※
貞應三年百首冬田
為家

※
南北百番奇合
慈鎮

千五百番奇合
隆信

富

※
六帖歌
知家

巖

六帖題 巖

知家

ほしりくくさつ... *

岡屋入道撰政家二百首奇

為家

あつりくくさつ... *

保延元年家成卿家奇合祝

大藏卿行家

あつりくくさつ... *

石

百首御奇 寄名所恋

土御門院

あつりくくさつ... *

六帖題

信實

あつりくくさつ... *

仁安二年八月経盛卿家奇合祝

清輔

あつりくくさつ... *

※ 隱居百首奇

為家

あまのなほ浪のささるるにやうかたしき人なほささるるにやうかたしき

※ 文治三年百首迷懐

定家

ふゆ波のなほささるるにやうかたしき人なほささるるにやうかたしき

※ 承久四年百首石

俊頼

君の世にちかひなきにやうかたしき人なほささるるにやうかたしき

※ 家集迷懐

後九條内大臣

あまのなほ浪のささるるにやうかたしき人なほささるるにやうかたしき

※ 家集迷懐

後九條内大臣

あまのなほ浪のささるるにやうかたしき人なほささるるにやうかたしき

※ 承久四年百首石

若原忠房

あまのなほ浪のささるるにやうかたしき人なほささるるにやうかたしき

※ 建長八年百首奇合

衣笠内大臣

あまのなほ浪のささるるにやうかたしき人なほささるるにやうかたしき

海

六帖題

海を渡る人々
* 知家

十五番弁合

◎ 海の波を渡る人々
* 小侍

述懐 百首

* 俊頼

* 弘安元年百首

後九条内大臣

* 後法性寺
* 家百首
* 後朝意
* 後京極

家集

伊勢

六帖題 磯

衣笠内大臣

七三三

※ 正治二年百首

喜多院... 家五十首 旅

源師光 *

※ 正應五年之嶋社十首 浦霞 為送朝臣

六帖歌

知家 *

※ 正治二年百首

小侍従 *

※ 百首 百首 百首

湖

※ 永文二年四季百首

家隆 *

※ 永文二年四季百首

家隆 *

※ 永文二年四季百首

家隆 *

※ 永文二年四季百首

名所奇中くきくして

為相

いふふれあふれ波るきりて木のくねみまあきき凡

建保三年名所百首

家隆

きり海れ白ゆきあは波るきりて雲をあきてく風きり

家集

衣笠内大臣

きりあはるきりあはるきりあはるきりあはるきりあはるきり

鳴

弘安元年百首

後九條内大臣

海るきりあはるきりあはるきりあはるきりあはるきりあはるきり

家集

家隆

あはるきりあはるきりあはるきりあはるきりあはるきりあはるきり

鳴

衣笠内大臣

あはるきりあはるきりあはるきりあはるきりあはるきりあはるきり

永久四年七月忠隆卿家言合簿

源兼昌

※ 建保二年名所百首

※ 俊成女

※ 季経

※ 隆祐

※ 為家

※ 喜多院... 家五十首 眺望 寄蓮

※ 家集 嶋松雪

※ 野宮左大臣

※ 奥

※ 沖

※ 奥

※ 奥

※ 奥

日

るはれいしんせりしちのりまひて
* 覺延法師 *
沖の江の

家集 月号中

* 西行

ほりしんせりしちのりまひて
* 後鳥羽院

寂勝四王院名所御障子

* 後鳥羽院

まはりしんせりしちのりまひて
* 按察使公通

承安与廣田社令

* 按察使公通

おひしんせりしちのりまひて
* 鴨の

江

建長四年毎一首中

* 為家

おひしんせりしちのりまひて
* 後京極

仙洞五十首江上句

* 後京極

旅人れしんせりしちのりまひて
* 後鳥羽院

伊集月号五首中

後鳥羽院

※ しのぶの... 流るる... 月... 桂... *

※ 六帖題 桂 為家 *

※ 中宮権大夫家房

※ 細院... 家百首 從三位行能 *

※ 六帖題 うみ 僧正公朝 *

※ 江秋 為家 *

※ 文永十年 母... 日 *

百首奇浦永

行能

百首奇人家

後九條内大臣

うさまにふらふら池のほとりあはれはるる月をみりて

永久四年百首池

大皇太后宮妃後

みづのほとりあはれはるる池のほとりあはれはるる

家集屏風の奇

能宣朝臣

あはれはるる池のほとりあはれはるる池のほとりあはれはるる

百首奇

従二位頼氏

あはれはるる池のほとりあはれはるる池のほとりあはれはるる

池上暁月

権中納言長方

あはれはるる池のほとりあはれはるる池のほとりあはれはるる

正治二年百首御奇

第三のふり

あはれはるる池のほとりあはれはるる池のほとりあはれはるる

御集

中務卿のみ

あはれはるる池のほとりあはれはるる池のほとりあはれはるる

六百首の奇

家房

*

りるさるめ池のほとけのむすめのおもひのまのまのあはれ

院北面御會池上落葉

如願法師

ふりふりふりふりふりふりふりふりふりふりふりふりふり

正治元年新宮奇

若原季京

風ふりふりふりふりふりふりふりふりふりふりふりふり

因屋入道の家百首池邊柳

為家

ちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん

百首奇同類無異状

若原為顯

おもしろおもしろおもしろおもしろおもしろおもしろおもしろ

住吉社奉納百首奇

总持

おもしろおもしろおもしろおもしろおもしろおもしろおもしろ

日

おもしろおもしろおもしろおもしろおもしろおもしろおもしろ

* 日

建保三年名所百首御奇

建保三年名所百首御奇

順徳院

建長五年每の百中

建長五年每の百中

為家

松近河

松近河

西行

行家

行家

考京域方類臣

考京域方類臣

行能

行能

家集

家集

後頼

※ 中河のほとけのすゝめ

家集冬奇中

家隆

※ 中河のほとけのすゝめ

文永六年毎の言中

為家

※ 清見川のほとけのすゝめ

家集

鶴長月

※ 清見川のほとけのすゝめ

家集

鶴長月

※ 清見川のほとけのすゝめ

永文二年五月大神宮祢宜奇念祝 日

※ 清見川のほとけのすゝめ

貞應三年百首奇川念蘆 為家

※ 清見川のほとけのすゝめ

寂勝四天王院名所御障子 雅经

長曆一品賞命合 緑沼紅蓮浮

沿

家集

為家

貞應三年百首

日

長曆一品賞命合

相換

延喜六年定文家命合

緑沼紅蓮浮

光俊

六帖歌

浦

光俊

延喜六年定文家命合

＊ 日
＊ 信覺

光彦院... 家五平首 船中月 如願法師

＊ 雅經

最勝天王院... 大渡浦

＊ 民部卿範光

正治二年百首

＊ 九條内大臣

百首寄

＊ 仲心

家集

＊ 為實

名所寄中

＊

鹽竈

元永元年十月内大臣家奇各奥州名所鹽竈浦

~~~~~\* 荻原忠隆

\* 家集名所\* 法眼慶融\* 鹽竈

濱

\* 海邊宿政百首濱部 \* 為相 \*

\* 六帖歌 \* 光俊

○ 久安百首 \* 隆季 \* 為家

正和元年每々中







清輔

※ 嘉元三年百首海邊

入道前太政大臣

※ 洞院攝政家百首 旅

家長

※ 御集中秋海

中務卿侍子

※ 追門

仙洞影信海邊夏月

後京極

※ 貞應十年名所百首可

為家

渡

七三五





洲

洞院攝政家百首眺望

為家

はるばる文の如くあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに

家百首奇

月

浦のほとりよのまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに

家集

雅有

あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに

海道宿次百首

為相

あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに

淀

家集

西行

あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに

建保仙洞百首中

家長朝臣

あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに  
あまのついでにあまのついでに

瀧

延喜十七年御屏風

貫之

松のふもとを流るる水は山風の流るる水とてけり

二條関白家にて相張浮水とて後頼

名は流るる水は松のふもとを流るる水とてけり

家集

日

きりぎりすのこゝろに流るる水は山風の流るる水とてけり

建保三年名所百首御奇

順徳院

しづかに流るる水は松のふもとを流るる水とてけり

名所奇 清瀧

前大僧正隆奇

しづかに流るる水は松のふもとを流るる水とてけり

澤

寛喜元年 女御入内御屏風 江辺を蘆霜結鶴毛

為家

※ 白波

建長四年毎一首中

為家

※ 春のあけぬら 深のふらぬら 花のさかぬら 葉のたけぬら

天仁二年十月頭季卿家寺合 春駒

橘能元

※ 春のあけぬら 深のふらぬら 花のさかぬら 葉のたけぬら

井

六帖題 井

為家

※ 井のほとけのさかぬら 葉のたけぬら

百首奇

慈鎮

※ 井のほとけのさかぬら 葉のたけぬら

建長八年百首奇合

左近中将具氏

※ 井のほとけのさかぬら 葉のたけぬら

毎一首中

為家



~~~~~

~~~~~\* 西行

~~~~~\* 家集

~~~~~\* 家集 善中 後京極

~~~~~\* 百首 嘉陽門院越前

~~~~~\* 喜多院 送二品親王家 善房 閑居 源師光

~~~~~\* 寬元三年 結緣經 百首 為家

文集百首 更無俗物 當人眼 但有泉声 洗我心

家集 寄鳥志

家隆

建保四年百首

仲心

家集 梅

鷹

家集 志

清輔

小侍従

家集 秋寺中

後九條内大臣

家集 秋寺中

家集 秋寺中

家集 秋寺中

※ 母の御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に

日 五月雨

家隆

※ 父の御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に

十五日 香奇合

家長朝臣

※ 浪の御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に

仁安二年 寺合 山川水鳥

智海法師

※ 父の御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に

鳩

六帖 歌

信實

※ 父の御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に

衣笠内大臣

※ 父の御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に

日

知家

※ 父の御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に
おはるる御手紙に

放鳥

弘安元年百首花

常磐丹

Handwritten musical notation for '放鳥' (Hirano).

六帖歌

為家

Handwritten musical notation for '六帖歌' (Rokuchōka).

都鳥

日

中務卿の

Handwritten musical notation for '都鳥' (Miyako no Tori).

Handwritten musical notation for '日' (Hi).

相模

Handwritten musical notation for '相模' (Sagami).

鴟

常磐丹百首開中春而

仲正

Handwritten musical notation for '鴟' (Uguisu).

山陵鳥

六帖歌

光俊

十題百首

寂蓮

小陵鳥

正治二年百首

小侍從

百首御奇

土御門院

庭叩

十題百首

寂蓮

増子鳥

歩※

六指歌

長谷川

歩※

指

保延四年經家知家并合月

法性寺道・家三河

歩※

正治二年百首

忠良

牛

十題百首奇獸

後京極

歩※

舞臺

歩※

正治二年百首

日

※ 文永十一年 毎ノ方中 為家

※ 浪行 六帖歌 為家

※ 浪行 六帖歌 為家

馬

※ 日 家集 浪行 為家

家集 浪行 為家

※ 竹馬 西行

※ 建長七年 為家 行家

奇馬 亥

後頼

信實
犬

文永三年百首

定家

賀茂社百首

慈鎮

百首号 歌五音中

為頭

龜

十五百番号合

前大納言無宗

左大臣

貝

家集

西行

はな...の神...を...
* 西行

建長七年顯朝卿家十首述懷 信實

ゆ...の...
* 信實

蝸牛

百首御奇

土御門院

あ...の...
* 土御門院

十題百首

寂蓮

牛...の...
* 寂蓮

蜻蛉

百首御奇蜻蛉

順徳院

あ...の...
* 順徳院

六帖歌

光俊

あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし

蛛

十題百首御奇

後京極

あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし

建長八年百首奇合

行家

あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし

あはれなるものぞかし

能因

あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし

蝶

文治三年百首雜奇中

定家

あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし

正治二年百首

寂蓮

あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし
あはれなるものぞかし

述懷奇

家隆

草
 知家

入道親阿凡十賀屋尾寺
 後京極

家集 卷中
 忠孝

各寺中
 定家

竹

海道宿次百首竹の下
 為相

貞應三年百首竹
 為家

※
風...
※

竹條

保安三年法性寺入道...家寺合野凡

※
師俊

※
...
※

※
弘安二年箱根宮百首

※
安嘉門院四條

※
...
※

※
建保五年内裏御寺合

※
順徳院

※
...
※

※
六帖題

※
信實

※
...
※

苔

※
堀河院百首

※
匡房

※
...
※

※ 家集 菅上雪

~~~~~\* 仲心

※ 十首

※ 為家

~~~~~\* 中務卿のみい

※ 御集夕立

※ 山橋

~~~~~\* 為家

※ 貞應之年百首

※ 為家

~~~~~\* 淺茅

※ 細院攝政家百首

※ 光明寺

~~~~~\* 總鎮

※ 文集百首

~~~~~\* 總鎮

嘉元二年十月竹園御會

為相

あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに

洞院・家百首

定家

あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに

茅花

六帖長

為兼

あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに

為家

あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに

家集二百六十首中

好忠

あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに

續

六帖歌御奇

中務卿女

あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに
あまのつとむるまはらに

家集 ※
西行 ※

蓬

家集

定家 ※

毎首中

為家 *

弘長二年百首

信實 *

隆信 *

蓬

思草 ※

光臺院入道二品親王家五子首寄草

從三位範宗

~~~~~\*

忠草

~~~~~\* 嘉元二年百首不達也 \* 為相

菅

~~~~~\* 西園寺公家大臣家二十首 \* 家隆

~~~~~\* 建長八年百首奇合 \* 家

菅

~~~~~\* 諫書虫 \* 後徳大寺...

~~~~~\* 老若五十首奇合 \* 忠良


※ 芭蕉

芭蕉

正治二年百首

※ 芭蕉
木

文集百首 挿柳作高林 種桃成老樹

※ 急須

※ 隆季

六安百首

為家

※ 六帖題

日

志家

※ 志家

松本

有京放御朝臣

※ 松本

家集

家集

※ 家集

百首旋頭

後頼

※ 百首旋頭

千五百首

家集

※ 千五百首

建長八年

家集

※ 建長八年

六帖

家集

※ 六帖

文應元年

家集

※ 文應元年

※ 家集 とき
※ 後頼

松

※ 洞院攝政家百首
※ 行能

※ 六帖題
※ 信實

※ 家集
※ 西行

百首
※ 前中納言定嗣

※ 洞院：家百首 雪
※ 後九條内大臣

養和元年百首 神祇

定家

松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす
松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす

百首御奇

順徳院

松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす
松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす

六帖題

信實

松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす
松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす

建長八年百首御奇

行家

松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす
松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす

文應二年百一首中

為家

松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす
松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす

光豊院... 家五丁首 松雪 前中納言光経

松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす
松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす

月奇中

西行

松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす
松竹梅の三つ葉に
雪の白き花の
影をうつす

冬奇中

定家

~~~~~の松は~~~~~も~~~~~は~~~~~\*

※十五番奇合

\*正三位秀能

~~~~~松を~~~~~都り~~~~~

月

二條院讚岐

~~~~~松は~~~~~

貞保三年名所百首

行能

~~~~~松は~~~~~

宇治にて院御會已風

後凉極

~~~~~松は~~~~~

貞應三年調詠百首外物榻醒澗松色

為家

~~~~~松は~~~~~

※四年百首

日

~~~~~松は~~~~~

文保三年百首

芬陀利花院前関白

山と雲と霞と雨と風と雪と花と鳥と月と日と  
\* \* \* \* \*

隆直

日  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

寂暎四王院

定家

たそごふ木はしほふさき  
\* \* \* \* \*

椿

百首御寄

順徳院

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

寛治五年十一月従三位石見親王家亨令

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

楸

六帖題

衣笠内大臣

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

◎為家

＊ 日  
きまめつらなる家のまはれはあまのつらなる

正治二年百首

宜松門院冊後

＊  
まはれはあまのつらなる家のまはれはあまのつらなる

檜

千五百番奇合

後京極

＊  
まはれはあまのつらなる家のまはれはあまのつらなる

百首奇

意法

＊  
まはれはあまのつらなる家のまはれはあまのつらなる

意法

＊ 日  
まはれはあまのつらなる家のまはれはあまのつらなる

御集 秋田

中務卿

＊  
まはれはあまのつらなる家のまはれはあまのつらなる

杉

百番奇合

後京極

※  
杉  
...  
...

六帖題

光俊

※  
如  
...  
...

永久四年百首稻荷詣

仲實

※  
...  
...

李

六帖題

信實

※  
...  
...

李

※  
...  
...

柏

建保四年内裏御會

遠村雪

家隆





楚忽百首

すし... 栗... 柳...

為頭

十題百首末

ふし... 柳...

定家

つら...

あ... 柳...

俊頼

粉

六帖歌

き... 柳...

定家

櫻

月

あ... 柳...

為家

宝治二年百首山家水

頼氏

想※  
 想※  
六帖

想※  
衣笠内大臣  
※  
※

想

想※  
日  
※  
知家

想

貞應二年百首本

為家

想※  
想  
想  
想

想

想

想※  
想  
想  
想

想





日

寂蓮\*

Handwritten cursive text, likely a signature or name.

窟

十題百首居所

後京極

Handwritten cursive text with asterisks.

百首寄

後九條内大臣

Handwritten cursive text with asterisks.

後成郷家十首寄

頼政

Handwritten cursive text with asterisks.

六帖紙

衣笠内大臣

Handwritten cursive text with asterisks.

記

百首伊弉

北院入道

Handwritten cursive text with asterisks.

中略 經教王家五首百首各

\* 權僧正公朝

あはれなるをみれば 心もなほ うれしき ことなる

廬

額茂社百首各

\* 善鎮

ほろろと 雲のり の 風は さらさら 吹く 山は 静か

家集 山家春雨

\* 仲正

あはれなるをみれば 心もなほ うれしき ことなる

宝治二年五首 滋五月各

\* 信實

あはれなるをみれば 心もなほ うれしき ことなる

建長八年百首各

從二位良教

あはれなるをみれば 心もなほ うれしき ことなる

山階入道左大臣家百首 山家風

\* 為家

あはれなるをみれば 心もなほ うれしき ことなる

嘉祿六年百首

曰





百首奇述懐

ふもろははしはし丸湖まむ思ふくろくろく

\* 奔蓮

家集 深山家

\* 西行

くろくろくくろくくろくくろくくろくくろく

三百六十首中

好忠

あふあふあふあふあふあふあふあふあふ

隣

六帖歌

衣笠内大臣

あふあふあふあふあふあふあふあふあふ

家集 花子首中

顯季

あふあふあふあふあふあふあふあふあふ

山家

西治二年百首山家

\* 家隆

あふあふあふあふあふあふあふあふあふ

※ 洞院：家百首 山家

後九條内大臣

し...れ...る...の...を...  
\* \* \* \* \*

日

頼氏

文...は...の...を...  
\* \* \* \* \*

家集 山家

後九條

水...の...の...を...  
\* \* \* \* \*

百首奇

後京極

此...の...の...を...  
\* \* \* \* \*

家集 山家夜霜

美...の...の...を...  
\* \* \* \* \*

山家十五首奇中

日

心...の...の...を...  
\* \* \* \* \*

洞院：百首 山家

大納言経通

し...の...の...を...  
\* \* \* \* \*

同

定家

谷のまき... 定家

文治六年五社百首

俊成

心... 俊成

建久七年百廿八首山家

定家

山... 定家

文永六年百首中

為家

陰... 為家

君臣御奇合

為家

君... 為家

田家

弘長元年百首

常磐井...

弘... 常磐井...

百首夏

岸蓮

如※...

嘉元四年七月當座百首 田家

為實

...

田家の...

國信

如※...

郡

...

忠岑

里

家集

在原基政

...

基俊

...

正治二年百首

小侍従

\* 朝みればあはれなる御座りて人のあはれなるをたふさるる

家集穿然法師すゝるるちやくもいふ

西行

\* 水たまりを掘りてはくすはるる水はくすはるる

よ

\* 人

布きかゝるるの里のうらむる御座りてはくすはるる

\* 重家卿五首并合

\* 頼政

月ひかりてはくすはるる御座りてはくすはるる

建長七年顯朝卿家十首故郷霞行家

\* ともみればはくすはるる御座りてはくすはるる

赤

\* 家集雜奇中

\* 通具

\* 美しき御座りてはくすはるる御座りてはくすはるる

六帖長 信實

~~~~~\*~~~~~  
窓

* 十題百首奇 後京極

~~~~~\*~~~~~

建長八年百首奇合 信實

~~~~~\*~~~~~

六帖長 日

~~~~~\*~~~~~

夏臥北窓風 枕席如涼秋 \* 意結

~~~~~\*~~~~~

戸

* 百首奇 海邊

~~~~~\*~~~~~

六帖歌  
衣笠内大臣

門

家五十首奇祝  
喜多院

文安百首  
清輔

墙

六帖歌  
信實

百首御奇  
順徳院

石清水三首奇合  
後鳥羽院百首

家集 曾哥中

西行

あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか

十首哥

為家

あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか

永久元年七月若尔定通家并合電

為家

あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか

家集 山家納涼

實家

あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか

籬

嘉元三年式ヲ仰親之家續千首林鹿柴

為相

あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか  
あまのこゝろをいかにいふか

寛喜元年女卿入内為凡

西園寺入道前太政大臣







あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて

沓

あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて

家集 閑庭霜

仲心

月

和泉武部

あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて

杖

六帖歌

衣笠内大臣

あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて

七日卯杖ももつりて  
七日卯杖ももつりて  
七日卯杖ももつりて  
七日卯杖ももつりて  
七日卯杖ももつりて  
七日卯杖ももつりて

ほろりかへり

右京行業

あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて  
あまのついでにふりかへりて

蓑

六帖歌

為家

慶政上人

鐘

鐘  
\* 月  
\* 中務卿親王孫舍

月  
\* 信實

六帖歌  
\* 衣笠田大臣

鐘

家集  
\* 女月  
實家

日  
\* 信實

\* 信實

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

寂勝四天王院名所四序風

後鳥羽院

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

源惠僧心泉障子繪可

為相

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

貞應三年百首

為家

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

卒都婆

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

王

久安百首

清輔

~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*  
~~~~~\*

~~~~~

忠岑

わがまはさかたにふりかへりてはなれ

※ 永久四年八月雲居寺并合露 源為昌

いづれもあはれにふりかへりてはなれ

※ 千五百番并合 正之位季能

月影にやうにふりかへりてはなれ

鏡

六帖歌 鏡 衣笠内大臣

いづれもあはれにふりかへりてはなれ

※ 伊与國とて樂音哥百鍊鏡 能因法師

いづれもあはれにふりかへりてはなれ

枕

※ 舊枕古衣誰与為 定家

いづれもあはれにふりかへりてはなれ

老若五十首并合 嘉陽門越前

※
あさきとほくすぢのきくはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは

簾

六帖題

知家

※
あさきとほくすぢのきくはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは

月

光俊

※
あさきとほくすぢのきくはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは

家集

俊頼

※
あさきとほくすぢのきくはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは

衣

六帖題

信實

※
あさきとほくすぢのきくはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは

持衣寺

従之位廣範

※
あさきとほくすぢのきくはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは
なほなほはらふはらふはらふはらふは

三十首奇旅宿

家隆

おのゝけのうらみはなほなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて

元永元年六月八條太政大臣家會

あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて

仲正

あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて

六帖歌

信實

あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて

建長三年秋十首令秋霜 通具

あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて

永仁三年内裏中會 為實

綾

家集あはれなきはなほとて

あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて
あはれなきはなほとて

能因

糸

家集意亭

頌李

※ けいらいのむらさきのあはれをひてうりてさるるれ

車

建久七年百廿八首

定家

※ くるまのまはりのあはれをひてうりてさるるれ

六帖記

僧正公朝

※ くるまのまはりのあはれをひてうりてさるるれ

承安三年七月右大臣家寺合水月 仲正

※ くるまのまはりのあはれをひてうりてさるるれ

正嘉嘉二年暮春奇

公朝

※ くるまのまはりのあはれをひてうりてさるるれ

樋

永久四年百首

兼昌

※
~~~~~

六帖題

※  
~~~~~

光俊

筏

※家集大井道邊

俊頼

~~~~~

※建長八年母音中述懷

為家

~~~~~

※宝治二年百首

源俊平朝臣

~~~~~

舟

○十五番舞合

具親判官

~~~~~

六帖題

信實

とひやぬらんらにほくくしてむきよの神をうらむるは

※ 雪朝右近馬場うて 多旅長成

神うまふとくふねふらうて一ふらうてかきりて

※ 家集月奇中 俊頼

月ふれに甘れに神をうらむきよの神をうらむるは

※ 建保三年内大臣家百首神祇 有家

とくふの神をうらむるは

※ 住吉社百首奇 意鎮

みよの神をうらむるは

社

宝治元年十首奇合社頌祝 花山院内大臣

神をうらむるは

※ 家集神祇奇 徳念右大臣

かきりて

文應元年七社百首

為家

い... 神... 花... 人

古寺紅葉

若原為家

お... 寺... 人

兼通法師の... 寺中

善結

江... 寺

民

家集を... 寺

後京極

お... 民... 寺

翁

六帖題

仲實

お... 人

父


~~~~~

\* 伊豫

~~~~~

稚子

六帖題

* 為家

~~~~~

\* 日

\* 知家

~~~~~

未通女

永久四年百首妓女

頭仲

~~~~~

御真露

中醫師の文

~~~~~

使

千五百番奇合

意録

ふらふらとささるる花のささるる入老のささるる花のささるる

海人

大神宮百首御奇

後鳥羽院

ふらふらとささるる花のささるる入老のささるる花のささるる

六帖題

為家

ふらふらとささるる花のささるる入老のささるる花のささるる

光俊

ふらふらとささるる花のささるる入老のささるる花のささるる

信實

ふらふらとささるる花のささるる入老のささるる花のささるる

遊女

六百番奇令 寄遊女色

後京極

ふらふらとささるる花のささるる入老のささるる花のささるる

慈徳

文治二年百首 李夫人 定家

李夫人

日年百首 李夫人

定家

文治二年百首 王昭君 六條院大進

王昭君

永文四年百首 王昭君

六條院大進

文治二年百首 陵園妾 定家

陵園妾

文治二年百首 陵園妾

定家

文治二年百首 賀 光行

二十六年 賀

光行

文治二年百首 賀

賀

文治二年百首 御奇

第三のひ、惟

石清水三首可令旅希首

总括

如入心也

日

鴨長明

さけむらやちかたふらふ袖をきりてはしの松風

嘉禎三年十月可令羈旅

隆祐

ささげの葉もわらわりの葉もわらわりの葉も

家會 旅眺望

為相

関ふもそよ風のほろけきりてはしの松風

家集

鎌倉右大臣

ささげの葉もわらわりの葉もわらわりの葉も

久安百首

頭補

ささげの葉もわらわりの葉もわらわりの葉も

日

清輔

ささげの葉もわらわりの葉もわらわりの葉も

六帖歌

送のたふらふ衣原守下如れはに花にうらみ

衣笠内大臣

日

信實

送のたふらふ衣原守下如れはに花にうらみ

建永元年和歌所之首等合野中雪

後京極

送のたふらふ衣原守下如れはに花にうらみ

旅中

日

送のたふらふ衣原守下如れはに花にうらみ

眺望

喜多院...家五十首眺を

有家

送のたふらふ衣原守下如れはに花にうらみ

後九條内大臣

送のたふらふ衣原守下如れはに花にうらみ

Handwritten cursive text, likely a title or introductory line.

能因

建久七年百廿八首韻字

定家

哀傷

家集無事乎甲

為家

日

西行

建永二年之月百首字

為家

家集無事乎甲

為家

Handwritten cursive text at the bottom of the page.

雜子中

※ 他阿上人

夢

正治二年百首

※ 喜多院

※ 中務卿

五平首

信實

※ 信實

六帖歌

信實

※ 信實

戀

正治二年百首

二條院讚岐

※ 和泉式部

家集

和泉式部

※ 和泉式部

匡房*

源氏物語の名もつておぼしき歌

信實

宝治十首言合思久志

源氏物語の名もつておぼしき歌

登蓮

安元二年十月右大臣家言合

暁島 道因法師

洞院の家百首怨歌

家隆

言語

日

定家

源氏物語の名もつておぼしき歌

幽奇中

西行

~~~~~

家集忘奇中

能宣朝臣

~~~~~

述懷

夢中歡樂賦

十里

~~~~~

嘉應二年十月住吉社奇合述懷

清輔

~~~~~

述懷奇

慶政上人

~~~~~

他奇人

~~~~~

日

日

Handwritten text in a cursive script, oriented vertically on the right side of the page.

